

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【公開番号】特開 2014-21450 (P2014-21450A)
 【公開日】平成 26 年 2 月 3 日 (2014.2.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-006
 【出願番号】特願 2012-162965 (P2012-162965)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/1368

H 0 1 L 29/78 6 1 3 Z

H 0 1 L 29/78 6 2 3 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 6 月 18 日 (2015.6.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

絶縁基板と、前記絶縁基板上において画像を表示するアクティブエリアに位置し島状に形成された第 1 半導体層と、前記絶縁基板上において前記アクティブエリアの外に位置し島状に形成された第 2 半導体層と、前記第 1 半導体層及び前記第 2 半導体層を覆う第 1 絶縁膜と、前記第 1 絶縁膜上に形成され第 1 方向に延出したゲート配線であって前記第 1 半導体層と交差する位置のゲート電極及び前記第 2 半導体層と交差する位置の交差部を含むゲート配線と、前記ゲート配線を覆う第 2 絶縁膜と、前記第 2 絶縁膜上に形成され第 1 方向と交差する第 2 方向に延出し前記第 1 半導体層とコンタクトしたソース電極を含むソース配線と、前記第 2 絶縁膜上に形成され前記ソース配線から離間し前記第 1 半導体層とコンタクトしたドレイン電極と、前記ドレイン電極と電氣的に接続された画素電極と、を備えた第 1 基板と、

前記第 1 基板に対向して配置された第 2 基板と、

前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に保持された液晶層と、

を備えたことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

さらに、前記アクティブエリアの外に位置する前記第 1 基板に形成され前記ゲート配線に電氣的に接続されたゲートドライバを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記第 2 半導体層は、前記ゲート配線と交差する細線部と、前記細線部に繋がった拡幅部とを備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 半導体層及び前記第 2 半導体層は、ポリシリコンによって形成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記細線部は第 2 方向に沿って延出し、前記拡幅部は第 1 方向に延びた横長のスペース

に配置され、前記拡幅部の面積は前記細線部の面積よりも大きい、請求項 3 に記載の液晶表示装置。

【請求項 6】

前記細線部は第 2 方向に沿って延出し、前記拡幅部は第 1 方向に沿った長さよりも第 2 方向に沿った長さの方が長い長方形状であり、前記拡幅部の面積は前記細線部の面積よりも大きい、請求項 3 に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

前記細線部は第 2 方向に沿って延出し、前記拡幅部は前記細線部の一端側に繋がった第 1 部分及び前記細線部の他端側に繋がった第 2 部分を有し、前記第 1 部分及び前記第 2 部分は第 2 方向に沿った長さよりも第 1 方向に沿った長さの方が長い長方形状であり、前記第 1 部分及び前記第 2 部分の面積は前記細線部の面積よりも大きい、請求項 3 に記載の液晶表示装置。

【請求項 8】

前記細線部は、第 1 方向に延出した第 1 部分と、第 2 方向に沿って延出し前記ゲート配線と交差する第 2 部分とを有し、L 字形に形成されている、請求項 3 に記載の液晶表示装置。